

SLUDGE CATCHER

スラッジ回収装置

取扱説明書



WINWELL JAPAN 株式会社

本社 カスタマーセンター

〒293-0036 千葉県富津市千種新田 684-3

(黒田精工(株)富津工場テクニカルセンター内)

TEL:0439-80-5109 FAX:044-555-3828

東部営業部：TEL:0439-80-5109 FAX:044-555-3828

中部営業部：TEL:052-769-4888 FAX:044-555-3828

西部営業部：TEL:06-6838-4188 FAX:044-555-3828

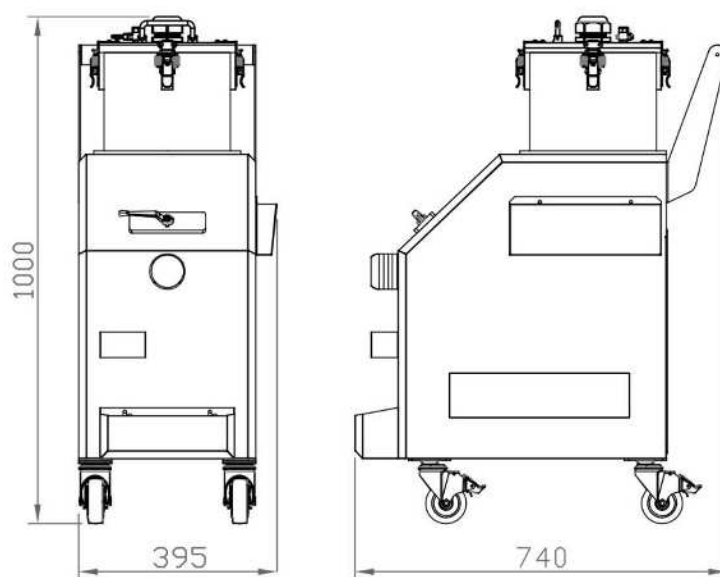


目 次

1. 規格	2
2. 部品名称	3
3. スラッジ回収装置組立説明	4
4. スラッジ回収装置使用説明	6
5. 注意事項	7
6. ダイヤフラムポンプの注意事項	8

1. 規格

1.1. 寸法図



1.2. 規格表

項 目	内 容
仕様	SCA-180
外形寸法(WxDxH)	395×740×1000 mm
駆動源	エアー駆動
重量（タンク空時）	56 kg
最大処理流量	1½"強力吸引ポンプ MAX 180L/min
所要空気圧源	0.2～0.8 MPa
最大エアー消費量	650 L/min

2. 部品名称



項目	名称
1	吸引ホース接続口
2	アクリル蓋
3	カバーロック
4	排気バルブ
5	回収タンク
6	排出ホース接続口
7	蓋かけケース
8	1¼” 吸引ホース
9	吸引用延長ノズル(100cm)
10	用延長ノズル(30cm)
11	1½” 排出ホース
12	ホース用おもり
13	流量調整用バルブ
14	エアー取付口
15	ON/OFF
16	給油口



3. スラッジ回収装置組立説明

3.1. 吸引ホースの取付について

3.1.1. アクリル蓋上の黒いプラスチックの接続口を少し緩め（接続口は取り外し不要）、クランプ無しの吸引ホースの先端を黒の接続口に挿し込んで下さい。（図 1）

3.1.2. 黒い接続口に挿し込んだ吸引ホースの先端が、黒い接続口裏側のフランジから出るように深く挿し込んで下さい。（図 2）

3.1.3. クランプ付きの吸引ホースの先端に吸引用延長ノズルを挿し込んでクランプで締めて下さい。（図 3）



図 1



図 2



図 3

3.2. 排出ホースの取付について：排出ホースを排出ホース接続口に嵌め込んでクランプで締めて下さい。（図 4）

3.3. 潤滑油の注油について：潤滑油の注油について：粘度 ISO-VG32 の工業用潤滑油かそれと同等の潤滑油をオイルカップ（注油量は工場出荷時に設定済み）に注油して下さい。オイルカップ容量は 65cc です。（図 5）

3.4. エアー接続について：外径 12mm（内径 10mm）のエアーホースをエアー取付口に接続し、供給空気圧を $5\text{ kg/cm}^2 \sim 7\text{ kg/cm}^2$ の範囲で調整して下さい。（図 6）



図 4



図 5



図 6

3.5. ストレーナの設置について： ストレーナを回収タンクに入れアクリル蓋と上蓋ロック金具でしっかりと留めて下さい。また蓋上の排気バルブを閉めて下さい。

4. ご使用にあたって

- 4.1. まず先に排出ホースを濾過させるタンクに入れ、排出ホースから水が飛び散らないように注意して下さい。流量調整用バルブを少し開けてダイヤフラムポンプを作動させてから、吸引ホースを汚水タンク内に入れて清掃します。希望する流量まで流量調整用バルブを徐々に開くと、回収装置が作動します。
- 4.2. 排気バルブは必ず閉めてください。排気バルブやアクリル蓋と上蓋ロック金具が正しく閉まっていない場合は、装置が正常に液体を吸引できなくなります。
- 4.3. 吸引用延長ノズルを使ってタンク内を攪拌し隅のスラッジを吸い取り、回収タンク上部のアクリル蓋からスラッジの回収状況を観察します。回収タンクが満杯になるか、スラッジが増えなくなったら、回収装置を停止する必要があります。
- 4.4. 濾過を停止する前に、吸引ホースをタンクから引き上げます。ダイヤフラムポンプの吸込みエアーを利用してスラッジを脱水させて下さい。

5. 注意事項

- 5.1. 硬い物でストレーナ清掃を行わないで下さい。これによりストレーナが破損した場合は保証対象外です。
- 5.2. 推奨の潤滑油をご使用ください。推奨潤滑油を注油せずにポンプが破損した場合、保証対象外となります。
- 5.3. 切り屑液が回収タンクの端から溢れた時は、回収タンクかストレーナが詰まっています。装置を停止しスラッジや切り屑を取り除いて下さい。回収タンクに過大に圧力がかかった場合は、アクリル蓋の破損や上蓋ロック金具の機能低下と吸引ホースの目詰まりに繋がり、本装置のスラッジ濾過性能に間接的に影響します。
- 5.4. 回収タンクやストレーナの詰まりや吸引ホースが切り屑で詰まっている場合は、ポンプの作動頻度が遅くなります。ポンプの詰まりを清掃後に再作動させて下さい。過度に圧力がかかった状態でポンプを作動させないで下さい、ダイヤフラムや部品寿命が短くなります。
- 5.5. エアーが $5\text{kg}/\text{cm}^2 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ の供給空気圧の範囲内の圧力であることをご確認ください。圧力が低すぎるとポンプの吸引が不十分となり、圧力が高すぎると過度の脱水により濾過回収が不十分となり、ポンプ寿命が短くなります。
- 5.6. 本装置は一般的な油性または水溶性の切り屑液に含まれる 6 ミリ以下の粒子状の輸送に適しています。乾燥した粒子状の輸送には適していません。
- 5.7. 吸引排水性能に影響を与えないように、タンクから二メートル以内に本装置を設置して下さい。
- 5.8. 本装置使用時には 4 つのキャスターを必ず固定して下さい。装置の傾き、横転や異常動作により怪我をする場合があります。
- 5.9. 本装置を熟知していない方や関係者以外は、本装置の改造、分解、組立てや修理などを行わないで下さい。不適切な行為は人や本装置にダメージを与える可能性があります。
- 5.10. 本装置作働中に、手や体で内蔵部品（配管、接続口、本体取付位置の調整等）に触れないで下さい。異状動作等により怪我をする可能性があります。

6. ダイアフラムポンプの注意事項

